

住友化学 i-農力だより

<http://www.i-nouryoku.com/index.html>

第48号 12月10日
発行 住友化学(株)アグロ事業部
お客様相談室 0570-058-669
発行責任者 古津 昇

目次

農家さん訪問記 (33)	p.1
住友化学アグログループ紹介 日本エコアグロ(株) .	p.5
野菜の病虫害防除・お役立ち情報	p.6
住友化学の液肥について(その7)	p.7
今月のお奨め農薬	p.8
農薬あれこれ?なぜなに?コーナー	p.9
農薬登録情報	p.10
今月のご相談から	p.11
病虫害発生情報	p.12
最近の「お・・美味しい!」	p.14
コラム・そば談義	p.15
編集後記	p.15



エゾツツジ(ツツジ科)とメボソムシクイ(ウグイス科) 富樫氏 画

農家さん訪問記(33)

高い栽培技術でこだわりの品質を目指す増田さん!

今回の農家さん訪問では、前回訪問した茨城県八千代町のお隣の常総市を訪ね、品質にこだわったスイカとメロンを栽培し、独自の農業経営を行っている増田勝彦さん(38才)を訪問しました。(訪問日:10月21日)

時代は変わっても、品質に対する自信は変わらない!

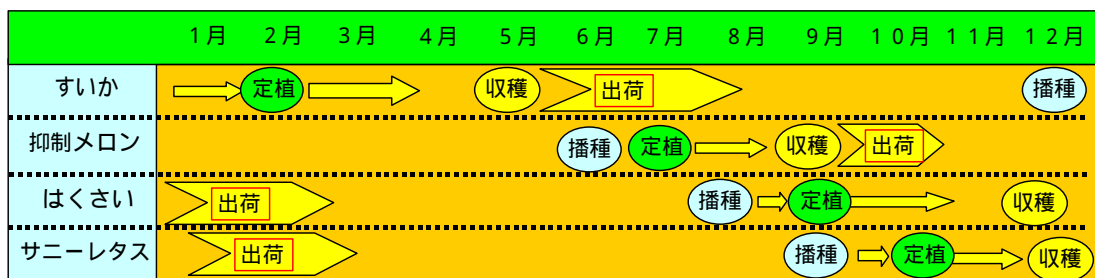


増田勝彦さん

増田さんのお宅を訪問した時、増田さんは玄関の前でゴルフクラブをビュンビュン振り回しておられました。聞けば増田さんはゴルフのシングルプレーヤーで、素人離れした腕の持ち主だそうです。早速お宅に案内され、元気一杯の増田さんと非常に穏やかな67歳のお父さんにお話を伺いました。

現在、増田さんのご家族は両親と奥さん、長男、長女の6人家族で、農作業はご両親、奥さんを加えて4人でやっています。春期～夏期栽培では「すいか」と「抑制メロン」を栽培しています。栽培面積は「すいか」が露地で1.5ha、「抑制メロン」がハウスで30aです。秋期栽培では「すいか」の後作と

増田さんの栽培暦



して露地で「はくさい」を栽培し、「抑制メロン」の後作としてハウスで「サニーレタス」を栽培しています。

「すいか」の栽培は12月20日頃から始まり、台木のゆうがおと「すいか」を播種し、1月に接木し、2月上旬に苗を植付け、5月～6月には収穫・出荷を始め、7月中旬まで出荷を続けます。

「抑制メロン」の栽培は6月頃から始まり、6月10日に播種し、6月下旬に苗を植付け、9月中旬に収穫・出荷を始め、10月上旬には収穫を終了します。「抑制メロン」は昭和から平成にかわった時、ハウスを建設して栽培を開始しています。

「はくさい」はお盆前に播種し、9月に苗を定植し、11月から収穫・出荷を始めます。

「サニーレタス」は9月下旬に播種し、10月20日に苗を定植し、12月中旬から収穫を始めます。我々が訪問した時はちょうどハウスで「サニーレタス」の苗を植付けた直後でした。

以上のようなサイクルで栽培しますが、増田さんが特に力を入れているのが「すいか」と「抑制メロン」です。「すいか」の品種は祖父の代より栽培している「つくばのかおり」です。この品種は縞の大玉で非常に甘く、人気の高い品種です。しかし、大玉の「すいか」は小家族では食べきれない、皮クズが多くなる、冷蔵庫に入らない等の理由で敬遠され、カットスイカで販売されることが多くなり、全国的に栽培が減少してきました。ところが、従来から高品質の大玉の「すいか」には一定のファンがあり、このファンの底支えで、販売量は現在安定しています。

「高品質」の裏には土壌の育成ときめ細かい栽培技術あり！

このような状況では「すいか」栽培は品質の維持が絶対条件になります。ところが、



ハウス内のサニーレタス

従来から「すいか」を栽培してきた近隣地区では連作障害で品質の良い「すいか」が出来なくなってきました。バブル時代での化成肥料の多量投入により、土壌の劣化が進み、土壌中の微生物のバランスが崩れたのが、この連作障害の原因であると増田さんは考えています。増田さんはこの連作障害を事前に察知し、CEC(陽イオン交換能)の変動、リン酸やカリウムの含量等をチェ



すいかのシール

やっていたのですが、栽培農家が減り、現在は1軒で実施するので、負担が増加しています。また、栽培中の管理も忙しく、絶えず生育状況をチェックします。「すいか」は天候の変動で生育が変動するので、芽欠きの程度も毎年変わります。天候が良く、生育が強い場合は芽欠きの数を多くし、生育が弱い場合は芽欠きの数を少なくします。着果は1株2個に調整し、着果後50日を経過すると収穫が近づきますので、糖度計で糖度を測定し、収穫・出荷のタイミングを計ります。「抑制メロン」も同じように糖度計で糖度を測定し、水やりで糖度を調整し、出荷のタイミングを計ります。

病害虫の防除も肝要で、害虫では「コナジラミ類」、病害では高温時に発生の多い「べと病」が主要な防除対象です。

販売手段の多様化と「増田」ブランドの確立で固定客の確保！

このように手間隙かけて栽培した「すいか」や「メロン」も円滑に流通に乗って販売されなければ意味がありません。「すいか」はお父さんの代からの関係で、収穫の80%を埼玉県にある川越中央青果に一週間に2回の割合で出荷しています。また、収穫の10%をスーパーマーケットと契約し、出荷しています。残りの10%は自宅の庭先で販売しています。

スーパーマーケットや自宅の庭先で販売をすると、「増田さんのすいかは甘い」と評判になり、多く固定客が出来てきました。一方、「メロン」は常総市に隣接する坂東市にある岩井中央青果に出荷しています。収穫の時期になると、出荷は毎日行い、1ケース4~5個入りとし、全体で800ケース程出荷しています。店頭や自宅での販売は、不作年の収益確保方法として、「すいか」の場合は3年前から、「メロン」の場合は2年前からやっています。増田さんはこの販売方法を今後拡充していく計画で、インターネットや口コミ販売で販売ターゲットを絞込み、固定客の確保を目指しています。



メロンのシール



シーズン中は納屋を店舗として使用

このためには「増田さん」のブランド化が必須です。このブランド化には先ず何よりも高品質の「すいか」と「メロン」を安定的に確保し、消費者の期待を裏切らないことが必要で、増田さんはこのための栽培面での工夫に大変意欲を燃やしています。次に、販売する「すいか」や「メロン」を他の農家と区別する必要があります。そこで増田さんは自分と奥さんの写真入りシールを「すいか」や「メロン」に添付して、「増田さん」ブランドを明確にしています。このシールは2種類あり、それぞれ一枚譲っていただきましたが、このシールからは販売している「すいか」や「メ

ロン」の品質に対する増田さん一家の自信とプライドが伝わってきます。

更なる技術向上で顧客との信頼関係の確立を目指す！

増田さん自身は農業に就く前は、7年間埼玉県でサラリーマンをしていました。しかし、お母さんの病気をきっかけに帰農しました。農業を始めた頃は「農業なんて簡単なものだ」と思っていました。しかし、その後お父さんから栽培技術を伝承されるとともに、品質の高い作物を作るため、農業に関する勉強を重ねるに従い、農業の奥の深さを感じているそうです。増田さんに今後の抱負を伺うと、今の栽培技術を一層向上して、「増田さん」ブランドに恥じない高品質の作物を安定的に確保し、これにより顧客との信頼関係をよりしっかりと築き上げ、安定した農業経営を目指したいとのことでした。

お話を伺ってから、畑を見せて頂きました。畑の土壌はこの地域特有のフカフカとしたもので、これに加えて、増田さんが丹精して作り上げておられるので、掌でぎゅうと握れば塊になり、叩くと簡単にバラバラになります。畑には幅 5.4m、長さ 100mのビニールハウスが6棟建てられており、中には「サニーレタス」の苗が植え付けられたばかりでした。このビニールハウスにも増田さんのこだわりがあり、業者に依頼することなく、材料だけを購入して、増田さんが一人で建てています。その出来栄も実に立派で、土壌や栽培方法だけでなく、ビニールハウスにもこだわりを持って、独自の農業経営に意欲を燃やす増田さんでした。（山脇、古津）



自作のハウス（手前はくさい）

今回の取材も、(株)よしたに商店の吉溪社長にご協力を頂きました。

[目次へ戻る](#)

住化アグログループ紹介

日本エコアグロ(株)

「乙姫にんにく」試食販売

今回、新しい商材が当社のリストに仲間入りとなりました。

大分県の和田農園さんが栽培されている「乙姫にんにく」を紹介いたします。こちらの商品はニンニクを水耕栽培で育て、芽の部分が4~5cmほど発芽したところで収穫となります。収穫した後、米ヌカから抽出した「フィチン酸」を施用する事で、“食後短時間で口臭が気にならなくなる”という優れ物です。

和田農園さんに伺ったところ、この「フィチン酸」は一般に販売されていますが、ニンニクに用いる場合のノウハウは企業秘密?との事でした。この「乙姫にんにく」は根の部分だけを付けたままの出荷となります。実はこの根(和田さんは髭と呼んでいます)がとても美味しいのです。



早速サンプルをお得意先に配布したところ、京都のある百貨店の青果担当者から「面白い商品ですね。試食販売会を実施して、販促をかけて見ませんか?」とオファーをいただきました。当社に京都出身の社員がいたこともあり、彼がデパ地下で実演販売を実施する運びとなりました。早朝、試食用のニンニクを唐揚げにして粗熱をとり、開店と同時に現場でこの唐揚げをホットプレートで温めて、試食として提供(2日間で500食)しました。

普段は市場の担当者や量販店のバイヤーとの打合せに終始する事が多いのですが、この週末はお客様の生の声を拝聴する貴重な体験となりました。また、試食の評判も上々で大変喜んで頂けました。

[今回のお客様の感想として]

- ・ [国産品だから安心して食べられる](#)
- ・ [調理方法が簡単で手軽](#)
- ・ [根の部分がパリパリして美味しい](#)
- ・ [1回で使い切れる量目なので便利](#)
- ・ [口臭が残らないのが嬉しい](#)
- ・ [子供が喜びそう](#)



実演販売に立つ社員

関西の量販店や関東地区の市場でも徐々に注文が増えております。皆様のお近くのお店でもご用命下さいませ。また、この商品の詳しい内容や販売については、[日本エコアグロ\(株\)農産商品部・東京営業所](#)(電話:03-5651-0873)までお問い合わせ下さい。

[目次へ戻る](#)

野菜の病害虫防除・お役立ち情報

レタス病害虫の適正防除で秀品率を高めよう！

前回の総合的防除技術を踏まえ、レタス定植後の生育時期と病原菌の増殖・感染及び病害類の体系（同時）防除について述べ、参考に供したいと思います。

1. レタスの生育時期と病原菌の増殖・感染について

定植（菌：根圏・葉圏土壌増殖・感染） 外葉形成期「生長飛躍期」（菌増殖・感染・発病） 結球始期（発病・感染・菌増殖） 結球後期（感染・発病進展） 成熟期 収穫期 病害発病株残渣 伝染源（次作・次年度）

**2. レタスの生育時期と体系（同時）防除について**

病害菌類の増殖・侵入感染・発病は、レタスの生育時期・生育量と密接に関連します。レタスの生長飛躍期から結球始期にかけては、根圏や葉圏土壌で病害菌類の密度が増加する時期であると同時に、侵入感染好適時期に相当し、発育条件が満たされれば病気が発生してくることから、これらの時期から体系（同時）防除が重要となります。

栽培作型によって病害類の発生相は若干異なりますが、紙面の都合上、夏秋どり栽培（定植後の生育期間45日想定）における病害類の体系（同時）防除例を示すと次のとおりです。

防除時期	対象病害類	防除薬剤	留意事項
定植期	モザイク病	ダントツ粒剤を所定量処理する（アブラムシ類からの伝播）	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤散布に当たっては安全使用基準を必ず守りましょう ・葉や根の傷口は病菌の侵入を助けるので害虫を防除し被害痕を作らない ・病虫害の多発生が予想される場合は散布間隔を短縮して防除する ・銅剤散布では炭酸カルシウム（クレフノン）を加用する
定植7日後 （生長飛躍期）	腐敗病、軟腐病、すそ枯病	バリダシン液剤5を散布する	
定植14日後 （生長飛躍期）	腐敗病、軟腐病 斑点細菌病、すそ枯病	腐敗病、軟腐病、斑点細菌病には ボルドー（水和剤） 、すそ枯病には リゾレックス水和剤 などを散布する	
定植21日後 （結球始期）	軟腐病、腐敗病、斑点細菌病、灰色かび病、すそ枯病、菌核病	軟腐病、腐敗病、斑点細菌病には ナレート水和剤 、灰色かび病、すそ枯病、菌核病には ロブラール水和剤 などを散布する	
定植28日後 （結球期）	菌核病、灰色かび病、軟腐病、腐敗病	菌核病、灰色かび病には ベンレート水和剤 、軟腐病、腐敗病には バリダシン液剤5 などを散布する	
定植35日後 （成熟期）	菌核病、灰色かび病	ゲッター水和剤 を散布する	
定植42日後 （成熟期）	-	-	

（技術顧問：村上）

[目次へ戻る](#)

住友化学の液肥について(その7)

今回は、液肥を用いた高知県の越冬ナス栽培の事例を紹介いたします。

元肥に有機配合肥料を用いた慣行施肥体系と、元肥を施用せずに液肥で追肥する施肥体系の比較です。この試験では、慣行区に比べて窒素量で約50%の減肥区でも慣行とほぼ同等の収量が得られました。常に同様の結果になるとは限りませんが、作物の生育に合わせて追肥をすることで液肥の有効性が示された一例です。

(1) 耕種概要

品種: 竜馬、 台木: ヒラナス
 定植: 9月25日、 収穫終了: 翌年5月29日
 元肥: 有機配合肥料(7-7-7)
 追肥: 尿素複合液肥(10-4-8)
 水溶性園芸肥料(20-8-8-Mg5.5)
 液肥区は過燐酸石灰、硫酸加里を追加

(2) 施肥のポイント

1回の窒素量は1kg/10aを越えないように調整し、頻度は週1回を基本とする。ただし、施肥量を増やす場合は施肥頻度を増やす。厳寒期は1回の追肥量を少なめにする。3月以降、追肥量を徐々に増加させる。

(3) 試験結果

元肥を施用する慣行区では、追肥は11月から行い、元肥を施用しない液肥区では、追肥は10月から、上記(2)「施肥のポイント」に従って実施しました(表1)。その結果、液肥区では、窒素慣行同等区でも半量区でも、収量や品質は慣行とほぼ同等になりました(表2)。

表1. 試験区の施肥内容

区名	窒素施用量(kg/10a)									合計施用量(kg/10a)		
	元肥	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	窒素	りん酸	加里
慣行区	35	0	3	3	3	3	4	5	6	62	46	49
液肥区(窒素半量)	0	5	5	3	3	3	4	5	6	34	46	49
液肥区(窒素慣行同等)	0	7	7	7	7	7	8	9	10	62	46	43

表2. 試験区の収量および品質

区名	総収量(t/10a)	同左比(%)	A品率(%)	A品収量(t/10a)	同左比(%)
慣行区	15.3	100	82.7	12.6	100
液肥区(窒素半量)	15.4	101	81.5	12.6	99.4
液肥区(窒素慣行同等)	15.7	103	82	12.9	102

肥料用語解説(その10)

<肥料成分とは>

肥料取締法では、窒素(N)、りん酸(P_2O_5)、加里(K_2O)、石灰(CaO)、苦土(MgO)、マンガン(MnO)、けい酸(SiO_2)、ほう素(B_2O_3)を肥料の主成分として定めています。鉄(Fe)、銅(Cu)、亜鉛(Zn)、モリブデン(Mo)などについては肥料ではなく、「効果発現促進材」という別の取扱いになります。

お問い合わせは住友肥料販売店までお願いいたします。

[目次へ戻る](#)

今月のお奨め農薬

カイガラムシの防除はポイントを外さずに

カイガラムシは硬い殻や白い口ウ物質に体中を覆われて殺虫剤がなかなか効きにくい虫で、特に果樹栽培では重要な害虫です。「なし」、「りんご」ではクワコナカイガラムシ、「ぶどう」ではクワコナカイガラムシ、フジコナカイガラムシ、「かんきつ」ではヤノネカイガラムシ、「かき」ではフジコナカイガラムシ、「くり」ではカツマルカイガラムシが主な種類です。「茶」や「桑」の栽培ではクワシロカイガラムシ、クワコナカイガラムシが、「つばき」「ばら」等の花木の栽培ではミカンコナカイガラムシが重要です。その他にルビー



雌のカイガラ：陣笠状の硬い口ウ物質。

ロウムシ、ツノロウムシ、カメノコロウムシも被害の大きいカイガラムシの仲間です。

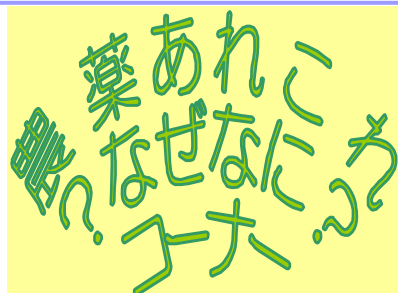
カイガラムシは樹体に寄生し、口器を枝葉、樹皮、果実に差し込んで樹液を吸います。このため、発生が多くなると、樹液を多く吸われて、樹勢が弱まり、生長抑制や枝枯れ、果実の肥大抑制、糖度低下を生じます。さらに、カイガラムシの排泄物は「甘露」や「ハニーデュー」とよばれ、多量の糖分が含まれています。これが枝葉、樹皮、果実に付着すると、その場所に空気中を浮遊しているすす病が取り付いて繁殖し、薄黒くなってしまいます。このため果実では商品価値がなくなり、観賞用の花木や庭木は折角の美しさが損なわれてしまいます。

カイガラムシの防除には二つの時期があります。上で述べたようにカイガラムシは硬い殻や白い口ウ物質に体中を覆われているので、その防除がなかなか困難です。しかし、カイガラムシにも弱点があります。それは孵化直後の若齢幼虫の時にはこの硬い殻や白い口ウ物質には覆われていないことです。カイガラムシは樹皮に張り付いて動かないように思われていますが、孵化直後の幼虫は全く無防備のまま、移動を開始します。これが第一の時期で、この時にタイミングよく殺虫剤を散布すると高い防除効果が得られます。効果のある殺虫剤にはスミチオン乳剤、マラソン乳剤、ダントツ水溶剤、サイアノックス水和剤等があります。カイガラムシの孵化の時期はそれぞれの種や気候条件、地域で変化しますが、概ね5月～9月です。第二の時期は果樹が休眠期に入るこれからの季節です。樹皮の隙間などに隠れるようにして越冬している卵や幼虫をマシン油で防除します。冬期の防除は一見意味がないように思えますが、この時期に越冬しているカイガラムシを防除しておかないと、春になって大発生する可能性があります。冬期にマシン油で丁寧に防除し、次世代の発生密度を抑えておくことは春以降のカイガラムシの防除をより効率的に行うのに是非しておかなければならないことです。

マシン油には「特製ハイマシン95」と「サマーマシン97」があります。「サマーマシン97」は適用作物が「みかん」、「びわ」、「りんご」、「つばき」「なし」に限定されていますが、ベンレート水和剤との混合塗布で「なし」の枝枯病、胴枯病の同時防除が可能です。両剤ともハダニの防除も可能ですので、冬期防除で春の発生密度を抑え、効率的な防除を実現してください。

(山脇)

[目次へ戻る](#)



販売中止になる農薬は いつまで使えるの？

ご質問

ニラを育てている農家です。ボルテージ乳剤は、ニラのネダニに良く効くので重宝していましたが、このたび、「販売中止になる」と聞いて驚いています。自分の手元にあるボルテージ乳剤は有効期限が来年3月までとなっていますが、それまでは使ってもかまいませんか？また、なぜ販売中止となったのでしょうか？

質問ポイント

**販売中止になると聞いた薬剤は、有効期限が切れるまで使っても大丈夫？
ずっと使ってきた農薬が販売中止になるのはどうして？**

お答え

「ボルテージ乳剤」は、この度販売を終了し、農薬登録も平成20年11月18日で失効しました。これまでのご愛用に感謝すると共に、ご迷惑をおかけすることをお詫び申し上げます。

さて、この剤の販売終了及び登録失効の理由は、経済的なもの、すなわち「販売量が少なく、登録を継続することが経済的に困難と判断したため」です。農薬の登録が無くなると、「安全性などに何かまずいことがあったのでは？」と思う人もいるかと思いますが、そのような理由で中止する場合はめったにありません。世間一般で売られている他の商品と同様、あまり売れなくなったものが販売終了になる場合がほとんどです。

このように、経済的な理由で販売を終了し、登録が失効した場合、登録が無くなったからといって、製品が危ないものになるわけではないので、有効期限内は問題なく使用できます。

この件については、農林水産省から見解が出ていますので、そちらもご参照下さい。

無登録農薬と失効農薬の関係：<http://www.maff.go.jp/nouyaku/m&s-kankei.htm>

なお、仮に、ある農薬に安全の問題があることが判明した場合、その農薬は、販売及び使用が禁止されます。また、このような場合は、当局より当該農薬の回収命令が出されます。

(佐伯・南)

[目次へ戻る](#)

農薬登録情報

< 11月19日付けの主な適用拡大内容です >

適用拡大 ・ ・今回は「未成熟そらまめ」がキーワードです

種類	薬剤名	変更点	作物	病害虫名/ 使用目的	使用量ほか	
殺虫 剤	アディオ水和剤	害虫追加	うめ	アカマダラケンキスイ	2000倍	収穫前日まで 2回以内 散布
	アディオ乳剤	作物名変更 (作物分離)	従来の「豆類(未成熟、ただし、さやえんどうを除く)」、 「豆類(未成熟、ただし、さやえんどう、 未成熟そらまめを除く)」とする。 害虫名削除：ナモグリバエ (修正：ハモグリバエ類に含まれるため)			
		作物追加 (上記作物 分離に 関連して)	未成熟 そらまめ	アザミウマ類 アブラムシ類 ハモグリバエ類 ヨウムシ類 ウラミシジミ フキメイト マシクイガ	3000倍	収穫7日前まで 3回以内 散布
	住化 スミチオン乳剤	作物名変更 (作物分離)	従来の「豆類(未成熟、ただし、さやえんどうを除く)」、 「豆類(未成熟、ただし、さやえんどう、 未成熟そらまめを除く)」とする。			
		作物追加 (上記作物 分離に 関連して)	未成熟 そらまめ	シロイモジマダラメイト ダイサヤマハエ カムシ類 マヒメヤムシガ	1000倍	収穫3日前まで 3回以内 散布
				アブラムシ類	1000～ 2000倍	
マシクイガ	1000～ 1500倍					
殺菌 剤	住化 ゲッター水和剤	使用時期 変更	ぶどう	灰色かび病	1000～ 1500倍	開花直前～落弁 期まで 但し、 収穫60日前まで 3回以内 散布
除草 剤	シマジン	適用雑草名 変更	適用全作物について、適用雑草名「畑地一年生雑草」を 「一年生雑草」に変更			
		作物追加 (作物分離)	未成熟 そらまめ	一年生雑草	50～ 100 g/10a	は種後 1回 全面土壌散布

作物名「未成熟そらまめ」の新設について：従来は、「そらまめ」の登録があれば、種実を採取する場合にも、未成熟そらまめを採取する場合にも使用できていましたが、農水省の方針で、他の豆類と同様に、種実のそらまめは「豆類(種実)」、未成熟のそらまめは「野菜類」に分離されることになりました。今回の「未成熟そらまめ」の新設は、この方針に沿ったものです。

[目次へ戻る](#)

今月のご相談から

レッドロビン(ベニカナメモチ)が、ごま色斑点病で大変！

Q . 毎年、垣根のレッドロビンに黒い斑点が生じ、落葉してしまい困っています。インターネットで調べたら、樹木の病気にはベンレート水和剤が有効だということがわかりました。しかし使い方がわからないので教えてください。

A 1 . 葉の表面に数ミリ大の褐色の小斑点が多数でき、これが灰褐色の円形の病斑（中央に光沢のある黒点を生じます）となり、その周りが紫紅色になって落葉するようなら、恐らく「ごま色斑点病」だと思います。この病害にかかると、新葉が次々に感染し落葉するので、葉の数が少なくなり枝葉が枯れていきます。やがて、樹勢が衰え始めて枯死することもあります。



カナメモチ（ごま色斑点病）

A 2 . ベンレート水和剤は、樹木類の「ごま色斑点病」に登録があります。希釈倍数は 2,000 倍です。新葉の展開期に約 10 日間隔で 2 ~ 3 回散布して下さい。この場合、展着剤を加用すると薬剤が葉面にしっかり付着します。なお、2,000 倍液の調製方法ですが、例えば 10L の散布液をつくるには、ベンレート水和剤「5g」を、10L の水に入れて十分攪拌すれば出来上がります。

A 3 . 薬剤による防除だけでなく、発病葉を摘み取ったり、落葉を集めて土に埋める等、適切に処分することも重要です。落葉を株元に放置すると翌年の発生源になります。また、病気が出ていると思われる枝も含め、過繁茂となっている枝葉を「剪定」することも必要です。

Q . ベンレート水和剤は、「樹木類」で登録があるので、色々な樹木にも使えて便利ですが、薬害等の心配は無いですか？

A . 確かに適用作物名が「樹木類」ということで、広範囲の樹木に使える非常に使いやすい薬剤です。しかし、ベンレート水和剤の「樹木類」のように、作物名が「類」という登録の場合は、ラベルの使用上の注意事項に以下のような記載がありますので必ず事前に薬害の有無を確認して下さい。

<注意事項> 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

(小川)

[目次へ戻る](#)

病害虫発生情報

11月12日～12月5日

千葉県

*11月12日 特殊報 / しそ / サビヒョウタンゾウムシ

当社薬剤：該当なし

詳細は：<http://www.pref.chiba.lg.jp/laboratory/agri/labo/pps/>

*11月28日 特殊報 / イヌマキ / ケブカトラカミキリ

当社登録剤：該当なし

詳細は：<http://www.pref.chiba.lg.jp/laboratory/agri/labo/pps/>**秋田県**

*11月14日 特殊報 / 日本なし / ヒメボクトウ

当社薬剤：該当なし

詳細は：

<http://www.pref.akita.lg.jp/icity/browser?ActionCode=genlist&GenreID=100000001021>**茨城県**

*12月5日 特殊報 / メロン / メロンえそ斑点病

りんごの幹 / ボクトウガの被害

当社登録剤：該当なし

詳細は：<http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/>**群馬県**

*11月21日 特殊報 / ほうれんそう / アシグロハモグリバエ

当社登録剤：該当なし

詳細は：

http://www.pref.gunma.jp/cts/PortalService/let?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=30463**鳥取県**

*12月4日 特殊報 / らっきょう / アイリスイエロースポットウイルス (ネギアザミウマの媒介)

当社登録剤：アグロスリン乳剤 (ネギアザミウマ) スミチオン乳剤 (アザミウマ類)

詳細は：<http://www.jpnpn.ne.jp/tottori/>

ネギアザミウマ

岡山県

* 12月2日 **特殊報 / りんどう / リンドウ黒班病**

当社登録剤：ポリオキシシリン A L 水溶剤「科研」(花き類・観葉植物)

詳細は：http://www.pref.okayama.jp/norin/nousou/bojoshou/yoho_index.htm

* 12月2日 **特殊報 / りんどう / リンドウ黒班病**

当社登録剤：ポリオキシシリン A L 水溶剤「科研」(花き類・観葉植物)

詳細は：http://www.pref.okayama.jp/norin/nousou/bojoshou/yoho_index.htm

徳島県

* 11月28日 **特殊報 / ポインセチア / ルイスアケハダニ**

当社登録剤：マラソン乳剤、ロディー乳剤、粘着くん液剤(花き類/ハダニ類)

詳細は：<http://www.green.pref.tokushima.jp/boujyosyo/>

愛媛県

* 12月4日 **特殊報 / きゅうり / キュウリ退緑黄化病(タバココナジラミの媒介)**

* 当社登録薬剤：ダントツ水溶剤・粒剤、ベストガード水溶剤・粒剤

詳細は：

<http://www.pref.ehime.jp/060no/urinsuisan/130byocyubojo/0000/2406030129/byocyubojo/>



タバココナジラミ

宮崎県

* 11月28日 **注意報 / きゅうり(メロン、すいか) / キュウリ黄化えそ病(ミナミキイロアザミウマによる伝播)**

当社登録薬剤：アグロスリン水和剤・乳剤、ダントツ水溶剤・粒剤、バッサ乳剤、ベストガード水溶剤・粒剤

詳細は：<http://www.jpnp.ne.jp/miyazaki/>

* 11月28日 **注意報 / ピーマン / 斑点病・菌核病・黒枯病**

当社登録薬剤：ダコニール1000(斑点病・黒枯病) スミレックス水和剤(菌核病)

詳細は：<http://www.jpnp.ne.jp/miyazaki/>

(手塚・柳原)

[目次へ戻る](#)

最近の「お・・美味しい！」

佐伯的「料理の極意」とは？

弊社相談室から佐伯がお送りします
最近の「お・・美味しい！」
女性の目・主婦の目・はたまた酒呑み？の目(笑)で、
毎月「これぞ！」というものを紹介します。
どうぞお楽しみに♪♪

冷蔵庫(特に野菜室)の中が空っぽになるのが好きです。さて、皆さんのお宅の冷蔵庫はどちらですか。食品や食材でギューギュー派？それともガラガラ派？うちの冷蔵庫は週始めはギューギュー派で、金曜日に近づくにつれて、ガラガラ派に推移します。そして土曜日の朝には、その週の食材がキレイにすっからかん！になるのを見て、密かに「よし！」とほくそ笑んだりしています(怪しい)。ここ最近、お野菜のいただき物が多く、突発的に何かをいただいてちょっと焦ったりしますが、それをいかに、うまく使って金曜日までに使い切るかが、腕の見せ所！と、かえって燃える日々です。今回は、友人から収穫されたばかりの野菜をいっぱいもらったので、早いうちに！ということで、頭をフル回転させて、1週間でほぼ使い切りしました。「**食材は残さず使いきり！**」これが、佐伯的料理の極意1つ目です。



里芋以外の食材は・・・
実は冷蔵庫の残り物(笑)！

以下、今回いただいたものがどう化けたかの全貌です。

里芋(大量) 豚肉と油揚げと里芋の煮物
(+同僚におすそ分け)

ほうれんそう お浸し、お鍋の具、クリーム煮

カブ クリーム煮(同上)

ネギ お鍋の具

とまあ、こんな具合に、少しずつ色々な料理に使って全て美味しくいただきました。

料理って難しく考えがちですが、例えば茹でなければ食べられない食材だったら、単に茹でればよい等、食材を食べられる状態にすれば、それで良いわけですし、味付けだって醤油味が飽きたら、クリーム味というようにローテーションで回していけばよし！そんな難しいコトではありません。あとは、順序ですね。煮えづらいものから煮て、煮やすいものは最後・・・と。気をつけるのはそんなトコでしょうか。このあたり、理科実験に似ているかもしれません(笑)。理科実験といえば、味付けの時に「この味とこの味・・・混ぜれば案外おいしいかも!？」なんてことを私はよくするのですが、これなんか、まるで化学の実験みたいですよ。たまに実験が失敗して「なんじゃこりゃ?」となる場合もありますが(笑)。ということで、**まずはいろいろやってみよう！これが佐伯的料理の極意2つ目です。**

こここのところの不景気で、自炊する人が増えているみたいですよ。自炊はめんどくさいな・・・と思う時もありますが、簡単に考えて楽しめば長続きするはずですよ。皆さんも気軽に自炊を始めてみませんか？(佐伯)



白菜と鶏肉のクリーム煮
+ほうれんそう・カブで
冬のごちそうメニューに変身！

[目次へ戻る](#)

コラム・そば談義 48

先日、夢の島・熱帯植物園で蕎麦振る舞いの催しがあり、手伝いのために参加した。

ソバは広い園内の空き地を利用して3年前から栽培している。ソバ畑の周囲は多摩動物園にいるコアラの餌であるユーカリが防風林のように植わっている。その花が咲くと花粉がソバ畑に降り注ぎユーカリ臭くなると言っていたが、幸い今年のソバは臭わなかった。

この日は今年一番の寒波だったが、空は快晴で東京湾に近いこともあり比較的暖かく、野外でそばを啜るにはまずまずであった。また、小麦も栽培したとのことでソバを含め全量「夢の島」産そば（二八そば）ということになる。それを江戸ソバリ工倶楽部の腕利き13名が志願して打つのである。始める前に講師役のKさんから「今日のそば粉はなかなかおもしろいそば粉ですよ。すこし、骨が折れますが繋がらないそばではないですよ」と意味深なコメントがあった。打ち始めてからしばらくすると、苦悶の声が漏れ始める。水回し、捏ね、延しと進むにつれて、そばが思うように繋がらず皆さんが悪戦苦闘しているのである。《私は、少しズルイが志願しなくて良かったと内心胸をなでおろす》この状態からベテランさんはどう打ち上げるのかじっくり観察することができて非常に参考になった。そして、そばは水回しと再認識するのである。

では、新ソバなのになぜ繋がりにくかったのだろうか。それはソバの挽き方にもよるのだと後で分かる。挽き方は大きく分けて2種類あり、一つは「挽きぐるみ」と言って、玄ソバの果皮（殻）をつけたまま石臼で挽き、その粉を篩いにかけてそば殻を取り除く方法と、最初に玄ソバの果皮を取り除き、その丸抜きのソバを粉碎したものを挽く方法とがある。植物園の粉は、完全に果皮を取り除くことが出来ない挽きぐるみのため、繋がりにくかったのである。この挽き方は外側の甘皮の部分も入り、ボソボソ感はあるが香りや栄養価も高く、少し黒っぽいことで「田舎そば」とも呼ばれて人気が高い。

さて、ソバや小麦の収穫に参加した人150人ほどを招待してそばを振舞ったが、皆さん一応に美味しいとの評であった。その難しいそば粉をこっそり持ち帰り、疲れた体に鞭打って帰宅早々に打ってみた。すると意外にもそばが繋がるではないか。最近、水回しが上手くなったと感覚的に思っていたが、これにより自信になる。しかし、これにはあとで落ちがある。そば粉を篩いに掛けたのである。それで細かい殻などが取り除かれて打ちやすくなったのである。しかし、それでも繋がったことに少し満足しているのである。これからそばを打つ機会が多くなる季節である。この経験を活かして一段上を目指したいとひそかに思っている・・・（古津）

夢の島・熱帯植物園：<http://www.yumenoshima.jp/guide/index.html>

編集後記 大分県のi - 農力会員さんから興味ある情報を頂きました。それは、「アグレッッシュおおいた」というホームページです。農家になった体験談が興味深く綴られています。農村に憧れて来てみたのはよいが、家族で厳しい現実に啞然となり、それでも村の人達に助けられ今では何とか生計が立つまでになったと、おもしろくまたホロリとする内容です。<http://www.m-mitsuba.com/Agresh/>



イラスト：加藤

[お詫び]：本誌47号「今月のご相談から」に販売中止品目「トクテン」の写真を掲載したことをお詫び申し上げます。（サントクテン80に差換え）

[目次へ戻る](#)